

PALM TOWN Racing Report スーパー耐久第6戦 岡山ラウンド レポート

9月6日(日)にワンデイ開催されたスーパー耐久岡山ラウンドへ、#602 明京産業パームタウンings EVOIX は平橋 利明選手/岩月 辰文選手/木村 聡選手の3名で参戦し、予選26位(クラス6位)・決勝28位(クラス5位)でレースを終えました。

[9月5日 土曜日 専有走行]

9月に入り、秋になったと思いきや気温は30度を超える残暑の厳しい1日となった。専有走行は午前・午後と60分枠が3本あり、3選手ともにセッティングやコースのコンディションに慣れる一日となった。

この高い気温で#602ランサーの油温が厳しく、セッションの合間や走行後にも熱対策に追われることとなった。



[9月6日 日曜日 公式予選]

午前8時35分より行われたAドライバー予選は平橋選手が担当。途中、赤旗中断があったものの1'45"616で終えました。続くBドライバー予選は岩月選手が担当。こちらはきっちりパートをこなし1'45"705というタイムでした。グリッドはAB双方のドライバーのタイムの合算で決まり、総合26位・クラス6位からのスタートとなった。

[9月6日 日曜日 PITWALK]



予選と決勝の間に行われたピットウォークでは、サポートいただいている、「エナジードリンク ビーストアイ」と新商品の「ビーストアイ ウォーター」をアピール。

ドライバーもスタッフもエネルギーチャージして決勝に臨みます。

今回は5名のPALMTOWN RACEQUEEN UNITメンバーも華を添えており、観客をはじめ、皆様に好評でした。

[9月6日 日曜日 決勝]

13時を過ぎ、いよいよコースイン。スタート担当は平橋選手。気温は30度を超え、路面温度も50度になろうかという過酷なコンディション。

13時30分、全34台のマシンが一齐にスタート。平橋選手も集団の中で暑さの中、マシンに気を配りながら順調に周回を重ねました。多くのマシンが脱落する中、淡々と走行し、34周目に1回目のルーティーン。ここで岩月選手に交代。



岩月選手に交代し、さらに周回を重ねる。ST-2クラスは各車油温が厳しく、ペースが上がらない中、#602ランサーを気を配りながらの走行となった。クールスーツを使用していたのだが、マシンの中の温度は高く、各ドライバーにはかなりきつい状況でした。有力チームが脱落する中、クラス4位まで順位を上げ、後半戦へ。70周目、岩月選手から、木村選手へ交代。タイヤ交換と燃料補給をして送り出しました。



ところが、レースも残り少なくなったところで木村選手が緊急ピットイン！
点火系のマイナートラブルによるものでした。
すばやく修復し、コースに送り出すもののクラス5位に。
その後も気を配りながらもチェッカーへ向け走行を続ける。

いよいよチェッカー。クルー総出で#602ランサーを迎える。
木村選手も声援に答えチェッカーを受けた！

結果は総合28位・クラス5位となりました。
ご協賛いただきました皆様ならびにご声援・応援いただきました皆様に、この場を借りまして、厚く御礼いたします。



MEIKYOU SANGYO

PTG
PALM TOWN GARAGE

BEAST EYE
[エナジードリンク] チャレンジスピリットをバフルサポート
<http://www.beasteeye.com>

ings+1
Faster and more Beautiful than Anyone.
<http://www.ings-net.com>

Ries
Racing Gear

BRIDE
RACING GEAR

PMU

YOKOHAMA